

業務用生ごみ処理機

近年、大量消費社会の拡大により廃棄物の問題は、地球的規模で拡大し、社会の最も大きな課題の一つとなっており、環境保護の観点からも、対策として減量化・再資源化が求められている。

廃棄物の中でも生ごみ、汚泥等のいわゆる生物系廃棄物の処理に占めるコンポスト化のシェアは、僅か1%にも届いていないのが現状である。このような状況に鑑みて最近特に注目を集めているのが、生ごみ処理機である。

当社は微生物を利用し、生ごみを約1/10に消滅減量し、処理後の残渣は優れた有機質肥料に再利用可能な、業務用生ごみ処理機を開発したので紹介する。

本機は、業務用に開発したもので、微生物の活動を活性化するために、空気供給にはツインプロワー方式、水分保持、温度維持にはそれぞれ、散水機構、ヒータ加熱を採用し、空気・水分・温度の3条件を上手く調整することで、好気性高速高温処理を実現した。また、生ごみ分解過程で発生する臭気は、水洗浄と活性炭による2段階の消臭装置を通過させることで、ほぼ無臭に近い状態にまで軽減することが可能である。

今後、優れたりサイクル装置として、大いに活躍が期待される製品である。

■ 特長

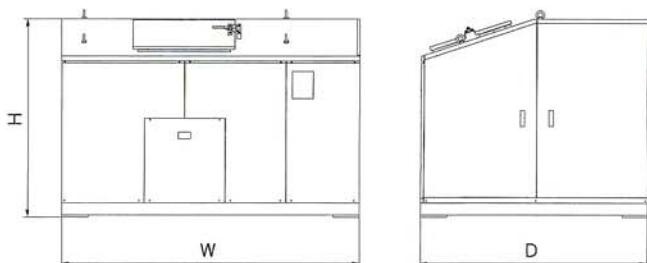
- 微生物による自己発熱により、ヒータ加熱をほとんど必要としないので、ランニングコストが安価
- アイチ独自の菌床(保水材、栄養剤、ブレンド菌等)を使用しているので、2ヶ月の連続投入が可能
- 高温で処理するため有害菌・害虫がほぼ死滅するので清潔・安全
- 処理物は、堆肥としてリサイクルが可能
- 消臭機は本体内蔵で、コンパクト
- 操作が簡単

■ 主な仕様

型 式	AG-15	AG-30
処理方式	微生物分解方式	
最大投入量	15 kg/日	
減量率	90%	
電源	1φ 100 V	1φ 200 V/3φ 200 V
最大消費電力	1.8 kW	3.6 kW
外形寸法	幅(W) 奥行(D) 高さ(H)	1300 mm 1300 mm 1130 mm
基材交換間隔	約2ヶ月	



■ 業務用生ごみ処理機の外観(AG-30)



■ 外形寸法